

# ANO 2022



穴生地区 第一次

ふくしのまちづくり計画

健康で住みよい明るい  
まちづくり



# 2026



## ごあいさつ

穴生地区まちづくり協議会(以下、まち協)は平成13(2001)年に発足し、平成22(2010)年に穴生地区社会福祉協議会(以下、社協)と一本化したしました。それまで社協が主体で動いていた行事は、全てまち協で行う事となりました。現在では、まち協の福祉部会において社協の活動を続けております。

穴生地区での福祉活動は、平成2(1990)年に「在宅福祉モデル地域」に指定され、平成5(1993)年には、「ふれあいネットワーク事業」の指定を受けました。それにより、友愛訪問、連絡調整会議、昼食交流会、生活支援等の活動を活発に行っております。

穴生地区は、まち協が行事の主体となっております。「健康で住みよい明るいまちづくり」をモットーに活動しています。自治区会、民児協のメンバーもまち協のメンバーとして活動しております。従って組織としてはスッキリしております。

この度、「小地域福祉活動計画」を策定するにあたり、関係者により協議を重ね、地域の今後の課題が浮かび上がってきました。その課題を克服すべく再三の協議により活動の実施計画がまとまりました。「小地域福祉活動計画」の推進に穴生地区全体で目標を達成するために鋭意努力いたしてまいります。

最後に、この計画の策定にあたり、皆様のご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。

令和4(2022)年3月



穴生地区まちづくり協議会  
会長 吉田 泰一

## も く じ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 穴生地区の現状と課題	2
1 地域社会の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目(体系図)	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	



## 第1章 計画策定にあたって

### 1 計画の性格

#### (1) 住民発信の行動計画

この計画は、穴生地区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

#### (2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、穴生地区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

#### (3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

#### (4) 穴生地区まちづくり協議会の活動指針となる計画

穴生地区では、まちづくり協議会の中に7つの部会を設置しており、穴生地区社会福祉協議会が福祉部会として、関係団体等と連携をとりながら地域の課題解決に向けた取り組みを行っています。この計画は、福祉部会の活動を中心に地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

### 2 計画の期間

令和4(2022)年度～令和8(2026)年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

### 3 計画の策定経過

穴生地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、穴生地区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、穴生地区小地域福祉活動計画を策定しました。



## 第2章 穴生地区の現状と課題

### 1 地域の特性

人口	12,785人	小学校	穴生、萩原、竹末小学校 八幡特別支援学校
世帯数	6,697世帯	中学校	穴生中学校 八幡特別支援学校
高齢化率	29.9%	公民館・市民センター	穴生市民センター
一人暮らし高齢者数	1,142人	地域包括支援センター	八幡西3

令和3(2021)年9月30日現在

穴生地区は、八幡西区の中部に位置し、北九州市の副都心黒崎に隣接する住宅地です。昭和31(1962)年筑豊電鉄の開通により人口が急増。生活の利便性は黒崎にも近く、黒崎～穴生間の道路拡張整備に伴う道路混雑の解消や、商業施設や学校、郵便局、銀行、病院等社会資源にも恵まれています。

また、地域活動も活発で穴生まつりをはじめとする各種行事には多くの参加者が訪れ世代を超えた交流があります。しかしながら、一部の住宅地では高齢者世帯が増えてきており、少子高齢化への対応が求められています。

### 2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

#### ●生活をする上で困りごとを抱えた人が増えている

- ・穴生地区では、民生委員児童委員と福祉協力員が連携して一人暮らし高齢者世帯等を定期的に見守る「友愛訪問」を実施していますが、商業施設や利便性は良いものの、高齢者のみの世帯の中には買い物やゴミ出しなどの困りごとを抱えているという声を聞くようになりました。

#### ●新たな活動者を増やしたい

- ・まち協は高齢者や子ども、障害をお持ちの方など世代や対象をこえて、地域住民同士が交流することのできる活動や各種イベントなどを行っています。これらの活動を持続可能な活動にするためにもまち協の活動や思いを知っていただく事で、若い活動者や応援者を増やしたいと思っています。



## 第3章 計画体系

穴生地区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取組みを定めました。

### 1 基本理念「健康で住みよい明るいまちづくり」

### 2 基本目標

#### (1) 福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気づく力を高めよう

～見守りのしくみの充実～

住民一人ひとりに「福祉やまち協への関心」を持ってもらうため、誰にでも分かりやすく伝わる広報活動に加え、地域福祉活動の担い手の確保のため、福祉を学ぶ場の提供や人材確保に取り組めます。

また、定期的に高齢者世帯等を訪問する「友愛訪問」や誰もが気軽に集える場として「サロン」など困りごとを受け止める体制を充実させます。

#### (2) 住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう

～話し合いのしくみの充実～

友愛訪問の活動報告の場である「連絡調整会議」やまち協の「会議」を活用し、困り事への解決や関係機関と連携して地域福祉活動に取り組む体制づくりを行います。

#### (3) 一人ひとりの困りごとを助け合おう

～助け合いのしくみの充実～

誰もが住みなれた地域でこれからも暮らしていけるよう、各種行事を開催することで、ボランティア活動や社会参加、自立を進めて行くための取組みを充実させます。

また、住民の抱えるさまざまな生活の困りごとに対して、民生委員や福祉協力員による生活支援に加え、地域住民同士で支え合う「お助け隊(仮)」を立ち上げ、共助のしくみをさらに強化させます。



### 3 実施項目（体系図）

	基本目標	主な取組み
基本理念 健康で住みよい明るいまちづくり	福祉の風土を広げ地域の困りごとに気づく力を高めよう ～見守りのしくみの充実～	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まち協だよりの発行</li> <li>● 穴生まつり</li> <li>● 福祉・ボランティア研修会</li> <li>● 民生委員と福祉協力員による友愛訪問</li> <li>● 生活安全パトロール</li> <li>● 木もれ陽サロン</li> <li>● プチサロン</li> <li>● 昼食交流会</li> <li>● 敬老会</li> <li>● 健康講演会</li> <li>● 小さな天使穴生</li> <li>● 健康フェスタ</li> <li>● ほのぼのルーム</li> </ul>
	住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 連絡調整会議</li> <li>● まち協会議</li> <li>● 小地域福祉活動計画の推進</li> </ul>
	一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 〈新規〉お助け隊の発足</li> <li>● 民生委員と福祉協力員による生活支援</li> <li>● みちピカ穴生</li> <li>● ボランティア会議</li> <li>● スポーツ大会（グラウンドゴルフ大会等）</li> <li>● 地域子ども交流事業（子ども忍者体験等）</li> <li>● おとなの遠足</li> <li>● どんど焼き</li> <li>● ふれあい餅つき大会</li> <li>● 文化祭あのお</li> <li>● 散歩クラブ</li> <li>● 歳末防犯防火パトロール</li> <li>● 防災研修会</li> </ul>



## 4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係団体・機関と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次の2つのことを推進していくことにしました。

重点実施項目	お助け隊の発足							
1 課題背景及び現状								
一人暮らしの高齢者世帯等が増え、自分では解決することが難しくても、行政や民間の福祉サービスを依頼するまでもない生活の困りごとを抱えた方が増えています。								
2 活動の方針・目標								
穴生地区で「お助け隊（仮）」を立ち上げ、「して欲しい方」と「お手伝いできる方」をマッチングさせる体制を新たに作ります。								
3 段階的な取り組みの年次計画 R4（2022）～R8（2026）								
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考	
他校(地)区へ視察	校(地)区社協 市民センター	●						
アンケート(ニーズ調査)検討・配付	市民センター 自治区会 PTA	→					・全世帯対象 ・ニーズ調査、活動者調査の2種類	
隊員リストアップ・研修	市民センター 大学	→					・スマホ教室(市民センター)も活用	
活動内容の選定	—		→				・無償・有償の検討。	
広報活動	地元企業 学校関係		→					
お助け隊発動!	大学		→					・モデル的实施から 少しずつ拡大
活動の見直し	—			→				・町内会加入増の推進



重点実施項目	新たな活動者の人材発掘						
1 課題背景及び現状							
穴生地区では多くの行事や活動を行っていますが、年々活動者が高齢化しており、新たな活動者の発掘が必要となっています。							
2 活動の方針・目標							
現在実施している行事やボランティアの人脈、お助け隊の立ち上げをきっかけに、人と人のつながりから活動の輪を強めていきます。							
3 段階的な取り組みの年次計画 R4 (2022) ~R8 (2026)							
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考
サロン等の集いの場の新しいカタチづくり	市民センター主導	●	→				・R4 からプチサロン等の出張サロン等を開催 ・R5 より新しい居場所づくりへ
穴生まつりに若手を引き込む	高校 大学 企業	→					・実行委員会への参画 ・アルバイト募集
町内会未加入世帯に加入の広報啓発	—	→					・土日など時間のあるときの声掛け
若い人への活動のお誘い	PTA 子ども会 ボーイスカウト		→				・どの活動がどのくらいの時間・曜日を行っているかをメニュー化する。
お助け隊からの人材発掘	お助け隊			→			



## 第4章 計画の推進

### 1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、以下の計画の広報活動を行います。

- ① まちづくり協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた地区住民への周知 等

### 2 計画を推進するための体制

#### (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、穴生地区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

#### (2) 計画の進行管理

穴生地区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、PLAN (計画立案) DO (実行) CHECK (点検・評価) ACT (改善) という PDCA のサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

#### (3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中見直しを、最終年度には総括評価を行います。

### 3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



## 参考資料 【穴生地区小地域福祉活動計画の策定経過】

### 1 穴生地区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	吉田 泰一	まちづくり協議会 第三自治区会	会長 会長	策定委員長
2	村田 昌国	まちづくり協議会	顧問	
3	片山 雅文	第一自治区会 青少年育成部会	会長 部会長	
4	山口 万規子	第二自治区会 穴生市民防災会	会長 会長	
5	村田 千代子	まちづくり協議会	事務局長	
6	古海 正義	まちづくり協議会	事務局次長	
7	渡辺 義英	まちづくり協議会	事務局次長	
8	片小田 千賀子	まちづくり協議会	会計	
9	野口 芳廣	総務広報部会	部会長	
10	守田 正一	地区社会福祉協議会 福祉部会	会長 部会長	
11	吉田 清二	散歩クラブ部会	部会長	
12	荒岡 和成	体育部会	部会長	
13	山之上 稔	地域交流部会 穴生児童館	部会長 館長	
14	森安 勝利	防災部会	部会長	
15	上野 則行	民生委員児童委員協議会	会長	
16	野見山 由佳	市民センター	館長	
17	藤元 武彦	クラブ連絡協議会	会長	

### 2 穴生地区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R3年11月15日(月)	・小地域福祉活動計画とは ・計画策定について意見交換 ・策定委員会構成メンバー検討
2	R3年12月20日(月)	・地区の現状について洗い出し ・生活課題・活動する上での課題について洗い出し
3	R4年1月17日(月)	・課題について、今後取り組みたい活動を話し合う ・課題の解決に向けた話し合い
4	R4年2月21日(月)	・体系図の確認 ・重点実施項目の実施計画づくり
5	R4年3月15日(火)	・計画書(冊子版・概要版)の編集



社会福祉協議会のイメージキャラクター  
プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)  
Volunteer (ボランティア)  
Saurus (サウルス≡恐竜)



穴生地区まちづくり協議会

(福祉部会：穴生地区社会福祉協議会)

〒806-0047 北九州市八幡西区鷹の巣 3-3-1 穴生市民センター内  
TEL 093-641-6026 FAX 093-641-6078

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6 階  
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号ウエルとばた内  
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579  
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

